

16 耳鼻咽喉科

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

耳鼻咽喉科領域の基礎的な知識・技術を理解し、初療時における鑑別診断、簡単な処置、検査法を習得するとともに、救急疾患を経験し、迅速に対応できる能力を身に付ける。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①基本的な処置（消毒、洗浄など）ができるとともに、外用剤等の処方ができる。
- ②基本的な手術、手技を習得する。（切開、剥離、縫合など）また、術前準備や術後管理ができる。
- ③内視鏡にて鼻咽腔、咽喉頭（声帯、食道入口部）を観察することができる。
- ④聴力検査（標準聴力 ABR 等）、平衡機能検査（フィレンツェ ENG）の意義を理解し検査結果を説明することができる。
- ⑤めまい・嚥下障害・音声障害・アレルギー疾患・頭頸部悪性腫瘍手術など他科との連携が重要であることを理解する。
- ⑥耳鼻咽喉科の外来手術ができ、複雑な手術の介助ができる。
- ⑦睡眠時無呼吸症候群の検査・治療内容が理解できる。
- ⑧救急疾患に対応できる。
 - ・簡単な鼻出血が止血できる。
 - ・簡単な咽頭、鼻腔異物が取れる。
 - ・めまいの検査ができる。
 - ・急性喉頭蓋炎が診断できる。

2）治療の実践

- ①指導医または上級医の指導のもと、多くの疾患の診療を経験する。
- ②入院患者について指導医または上級医の指導のもと、臨床経過を理解し、適切な対応を行う。
- ③咀嚼、嚥下発生のリハビリ法などに積極的に参加する。
- ④外来の初診患者について指導医または上級医の指導のもと、的確な問診と鑑別診断を行う。
- ⑤救急患者の検査・処置を行う。
- ⑥手術に参加し、指導医または上級医の指導のもと介助を行う。
- ⑦頭頸部領域の解剖の講義を受講する。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来	病棟回診	病棟回診	外来	外来
午後	小手術 ／処置 ／検査	小手術 ／処置 ／検査	手術	小手術 ／処置 ／検査	手術

毎週火曜日と木曜日の午後 5 時からのカンファレンスに参加